



生活習慣病センター

生活習慣病センター長 大原 毅



生活習慣病の全県の拠点的な機能を充実させるため、生活習慣病センターが2009年11月に新病院開設とともに設立されました。生活習慣病センターでは専任あるいは兼任の医師、看護師、栄養士、薬剤師、検査技師、理学療法士等により生活習慣病コアユニットが構成されており、各担当科と協力して治療にあたっています。

現在のところ、生活習慣病センターには、糖尿病チーム・足病変チーム・肝臓病チーム・呼吸器病チーム・動脈硬化チームがあり、さまざまな活動を行っています。

糖尿病チームでは糖尿病・内分泌内科と協力して、治療と教育を兼ねた「糖尿病教育入院」を行っており、通常の講義形式のものだけでなく、糖尿病食バイキングやカンパセーションマップを用いた指導など患者参加型の形式を取り入れ、個々の症例に応じたきめ細かな療養指導を行っています。また症例によっては、デジタルカメラを用いた食事指導、ライフコーダーを用いた運動指導などを取り入れた生活習慣改善プログラムを実施し、患者の生活習慣の改善を支援しています。

足病変チームは皮膚科をはじめ、形成外科、整形外科、心臓血管外科、循環器内科、糖尿病内分泌内科、放射線科、リハビリテーション科など各科の医師と専門看護師などが協力して診療にあたっており、足病変の発症・進展の予防はもとより、進んだ病状の患者に対しても定期的な症例検討を通じて患者のQOL確保・改善のための最善の治療を目指しています。

肝臓病チームは消化器内科と協力して、「肝臓病教室(総論)」、「肝臓病教室(各論)」を開催し、知識の普及や治療の支援を行うとともに、生活習慣と密接に関係すると考えられ、近年特に注目を集めている「脂肪肝炎(NASH)」の診療にも取り組んでいます。

呼吸器病チームは呼吸器内科と協力して、「禁煙外来」を行うとともに、「禁煙教室」も開催し、禁煙のサポートならびに禁煙に対する意識づけに取り組んでいます。

動脈硬化チームは循環器内科と協力して、「外来動脈硬化教室」を開催し、動脈硬化症に対する知識の普及を行うとともに糖尿病・高血圧・脂質異常症などを有するハイリスク群に対してスクリーニング検査ならびに精密検査を行い、動脈硬化症の早期診断・早期治療に取り組んでいます。

さらに、当院の生活習慣病センターでは肥満や運動不足に伴う内臓脂肪の蓄積や脂肪肝の程度などをCT検査により評価し、その結果をFat Scanを用いて解析することにより、治療や療養指導に役立てています。また、糖尿病・高血圧・脂質異常症・動脈硬化症などはインスリン抵抗性(インスリンが効きにくい状態)と密接に関連すると考えられていますが、個々の患者のインスリン抵抗性を正確に評価することは困難です。当院では間接カロリーメトリーや人工臓器を用いてインスリン分泌能やインスリン抵抗性をはじめとしたエネルギー・糖代謝の詳細な解析が可能となりました。このように当院の生活習慣病センターでは通常の診療のみならず、必要に応じて高度な専門的診療に取り組んでいます。

生活習慣病の予防・治療においては患者指導が不可欠ですが、当院の「生活習慣病センター 学習ひろば」では各種のビデオやDVDの上映、本の閲覧をはじめ、ご自由に持って帰っていただける各種パンフレットをそろえてお待ちしております。また、当院では①「外来糖尿病教室」をはじめ、②「肝臓病教室(総論)」「肝臓病教室(各論)」、③「外来動脈硬化教室」、④「禁煙教室」、なども定期的に開催しており、ご自由に参加いただけます。

[予定が変更される場合もあります。生活習慣病センター(担当看護師 正井)までお問合せいただくか、当院のホームページ(<http://www.kenkako.jp/index.html>)でご確認下さい]

まだ不備な点・不十分な点なども多々ありますが、地域の皆様方のお役に立てるよう取り組んでおりますので、当院の生活習慣病センターを是非ともご利用していただきたくお願い申し上げます

